

# 読む力で 育む学び

(敬称略)

◆ **基調講演** 「大学生と情報リテラシー」

講師：倉田 敬子

(慶應義塾大学文学部教授、日本図書館情報学会副会長)

◆ **講演**

「新聞で広げる読書活動

——ニュースで耕す文化の土壌」

講師：鵜飼 哲夫

(読売新聞東京本社編集委員)

◆ **実践報告**

① 「学校図書館と連携したNIE」

講師：片岡 則夫

(清教学園中・高等学校探究科教諭・図書館リブラリア館長)

② 「主権者教育とNIE

——次期学習指導要領を見据えて」

講師：黒崎 洋介

(神奈川県立瀬谷西高等学校教諭)

日時 2018年2月3日(土) 13:20~16:00  
(13:00受付開始)

会場 プレスセンターホール (日本プレスセンタービル10階)

募集人数 150人 参加費 無料

主催 一般社団法人日本新聞協会

変化が激しい現代社会を生き抜くには、多様な情報を読み解く力が不可欠です。この力は、現代の子供たちに求められる力の基盤となるものであり、主権者として自分の考えをまとめ、意思表示する上でも欠かせません。学校の「知の中核」である学校図書館は、子供たちの“読む力”を向上させ、学びを深めるためにどのような役割を果たせるのか。子供の社会への関心を高めるにはどうすればよいか。本フォーラムは、それらを考える機会とします。

エヌ・アイ・イー 教育 に 新聞 を

N I E (Newspaper in Education) は、学校などで新聞を教材として活用したり、メディアリテラシーを学んだりする活動の総称です。

(敬称略)

◆ 基調講演 13:25~14:00

「大学生と情報リテラシー」



倉田 敬子

慶應義塾大学文学部 教授  
日本図書館情報学会 副会長

1987年慶應義塾大学文学研究科博士課程修了。慶應義塾大学文学部助手、助教授を経て、2001年から同教授(図書館・情報学専攻)。専門は学術コミュニケーション、特に情報メディアのデジタル化、オープンアクセス、研究データ。著書に「学術情報流通とオープンアクセス」(勁草書房)など。08年度「日本図書館情報学会賞」受賞、10年「科学技術への顕著な貢献2010」(ナイスステップな研究者)選定。

◆ 講演 14:05~14:30

「新聞で広げる読書活動

——ニュースで耕す文化の土壌」



鵜飼 哲夫

読売新聞東京本社 編集委員

1959年名古屋市生まれ。中央大学法学部法律学科卒。83年読売新聞社入社。宇都宮支局、文化部などを経て2017年より現職。夕刊コラム「ほんの散策」などを連載。主な著書に「芥川賞の謎を解く 全選評完全読破」(文春新書)など。

◆ 実践報告 14:30~15:50

① 「学校図書館と連携したN I E」



片岡 則夫

清教学園中・高等学校 探究科教諭・  
図書館リブラリア館長

1963年生まれ。東京学芸大学大学院修了。小学生から高齢者まで探究学習の楽しみ方をガイド。「情報大航海術」「『なんでも学べる学校図書館』をつくる」等の著作がある。

② 「主権者教育とN I E

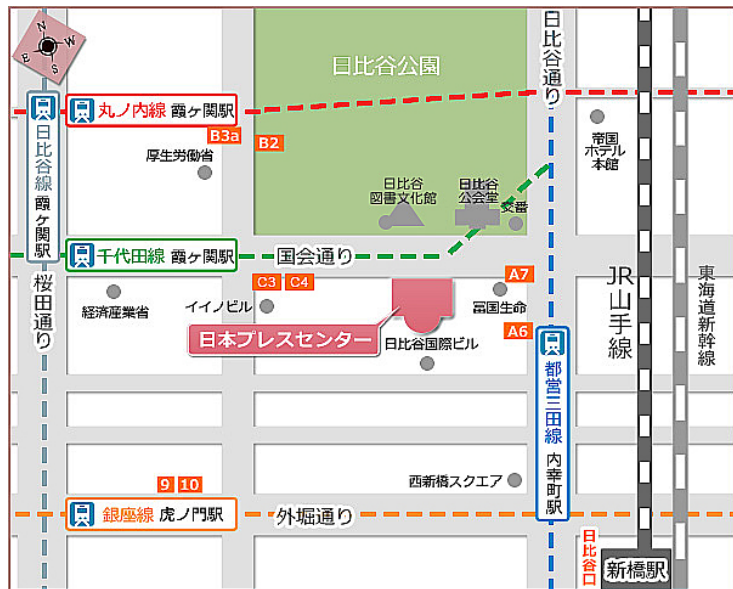
——次期学習指導要領を見据えて」



黒崎 洋介

神奈川県立瀬谷西高等学校 教諭

1987年神奈川県生まれ。早稲田大学教育学部社会科卒業、早稲田大学大学院教職研究科修了。神奈川県立湘南台高等学校勤務を経て、2017年より現任校勤務。専門は、公民科と総合的な学習の時間における授業づくり。



◆ 会場 プレスセンターホール

東京都千代田区内幸町2-2-1

日本プレスセンタービル10階

- 東京メトロ千代田線・日比谷線・丸の内線 霞ヶ関駅 C3・C4出口徒歩2分
- 都営三田線内幸町駅 A6・A7出口徒歩2分
- JR新橋駅 日比谷口徒歩10分

◆ 申し込み方法

- ・参加ご希望の方は、新聞協会NIEウェブサイト(<http://nie.jp/forum/>)からお申し込みください。
- ・申し込み締め切り：2018年1月26日(金)

※定員に達し次第、締め切ります。

※個人情報は、申し込み確認以外の目的には使用しません。

